

REAL ESTATE

不動産関連事業



不動産開発・建設・分譲・賃貸・仲介・リフォーム・ビルマネジメント・マンション管理・保険代理等の総合生活関連事業として、近畿圏と首都圏を中心に事業展開し、「安定的経営基盤の早期確立と持続的成長の実現」を目指しています。

2008年度の事業環境および業績

不動産事業を取り巻く環境は、国内経済の悪化を背景に顧客の購買意欲が減退しており、販売面を中心に極めて厳しい事業環境となりました。特に、分譲マンション業界においては完成在庫が大幅に増加しており、値引きによる販売を余儀なくされています。また、これまで堅調に推移していたオフィスビル需要については、景気悪化の影響から空室率が上昇し、募集賃料は低下してきています。ビルマネジメント事業および保険サービス事業などについては、顧客から契約内容の見直しを含めた減額要求が強まっています。

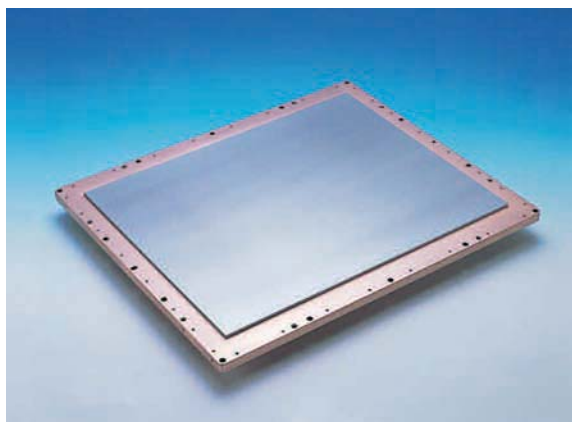
以上のような状況を反映し、2008年度の不動産関連事業の売上高は連結ベースで前年度比16.2%減収の371億円となり、営業利益は前年度比30億円減益の18億円となりました。

今後の見通しおよび施策

今後の経営環境につきましては、消費マインドの改善は期待できないと想定しており、販売価格に対する値下げ圧力は当面の間、継続すると考えています。また、事業パートナーに対する信用リスクも高まることが懸念されます。このような状況下、従来以上に事業リスクの管理を徹底するとともに、キャッシュ・フローおよび収益の確保に努めていきます。

ELECTRONIC MATERIALS AND OTHER BUSINESSES

電子材料・その他の事業



2008年度の事業環境および業績

液晶パネル需要の減少により、液晶配線膜用ターゲット材の販売量が減少したため、当事業の売上高は前年度比9.2%減の551億円となり、営業利益は50億円減益の31億円となりました。

今後も世界的な不況の影響により厳しい事業環境が継続すると想定されますが、生産性の効率化や営業力の強化により、収益の確保に努めていきます。